

各 位

上 場 会 社 名 日本フェンオール株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 井口雅雄
 (コード番号 6870)
 問合せ先責任者 常務取締役管理統括部長 高田忠夫
 (T E L 03-3237-3561)

平成26年12月期第2四半期累計期間の業績予想値と 実績値との差異に関するお知らせ

平成26年2月12日に公表いたしました平成26年12月期第2四半期累計期間（平成26年1月1日～6月30日）の業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異

平成26年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,628	719	724	426	72.29
実績値 (B)	10,013	903	905	572	97.22
増減額 (B-A)	385	184	181	146	
増減率 (%)	4.0%	25.6%	25.0%	34.3%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年12月期第2四半期)	9,165	775	820	525	89.18

平成26年12月期第2四半期累計期間の個別業績予想値と実績値との差異（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,744	532	539	265	44.97
実績値 (B)	5,890	690	693	383	65.15
増減額 (B-A)	146	158	154	118	
増減率 (%)	2.5%	29.7%	28.6%	44.5%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年12月期第2四半期)	5,332	530	580	344	58.51

2. 差異の理由

平成26年12月期第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は年初予想の4.0%増加にとどまるものの、SSP部門における防災設備工事関連売上およびメディカル部門における受託開発に係る売上等において、比較的利益率の高い売上高が多かったことを背景に営業利益、経常利益、四半期純利益とも年初予想を上回る結果となりました。

3. 通期業績予想について

当期の経済環境につきましては、企業収益が改善傾向を続けるなか、景気も緩やかに回復し拡大基調をたどる一方、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減による影響も見受けられます。当該環境の下、当第2四半期連結累計期間における当社の業績は順調に推移したものの、今後、当社を取り巻く経済環境に不透明感も存在することから、これらを総合的に勘案した結果、平成26年2月12日に公表いたしました通期業績予想に変更はありません。しかし、今後の業績推移に応じて修正の必要性が生じた場合は、速やかに公表いたします。